

## 当選御礼 —この日を「オール三鷹」の第1日目として—

このたびは、多くの市民の皆さまのお力で選挙戦を戦い抜くことができ、「当選」という結果を得ることができました。

このことに、心から、心の底からの御礼を申し上げます。

この7日間は、私の人生の中でも本当に長い一週間でした。

現職との大きな知名度の差もあり、告示前には不安を感じたこともありました。

それでも、公共施設の耐震化率100%宣言がなされながら、一方で市庁舎の建替えありきの議論が進んでいくこと、多選を目指しながら未来に向けたビジョンが示されていないこと、そうしたことに気付けば、三鷹市民の皆さんならきっと私の思いに耳を傾けてくださるという確信がありました。

実際に選挙戦がスタートすると、市民の皆さんの反応が一日一日と変わっていくのを感じました。声をかけてくださる方がだんだんと増え、終盤になってくると「さっき期日前投票をしてきたよ!」「みんなで応援しているから安心してね!」と、街頭で駆け寄って来てくださる方が幾人もいらっしゃいました。

現状への疑問が、お一人、またお一人と広がっていったことで、当初の圧倒的な差を覆すことができたのです。

このミラクルを起こしたのは、市民の皆さまのお力というほかはありません。

いただいた期待を背負い、これから力を尽くしていきたいことはたくさんあります。市役所以上に老朽化が進んでいながら、何年も足踏みが続いている三鷹駅前の再開発を進めていくこと。そこに、周辺の方々だけでなく、市内各地から集まる通勤者の方々が、安心してお子さんを預けられる居場所を作っていくこと。

また、大きな公園に囲まれ、豊かな農地が点在する「公園都市」ともいうべき環境をこのまちの宝として、市民の方々と一緒にその魅力を高めながら、次世代に引き継いでいくこと。

ほかにも、学校教育や地域ケアを次の段階に進めていくことなど、取り組むべき課題は数多くあります。

この三鷹のまちの主役である市民の皆さん、二元代表制のもう一翼を担う議会の皆さん、そして現場を支える職員や関係団体の皆さん、ともに「オール三鷹」の精神で、地域の課題と「明日のまち」づくりに取り組んでまいりましょう！

若手職員として市民の方々と熱い議論を交わしていた頃の初心に立ち返り、これからの4年間を歩んでいきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成31（2019）年4月22日

日の出前に

河村孝